

○【第3回作業】：平成27年8月30日（日）：4名参加

35℃予報の猛暑日での作業となりました。



鯉が3匹のどかに泳いでいます。でも池岸に近づくといつも通りすばやく底にもぐってしまいました。大学村の納屋（荘成町）から軽トラック（レンタカー）で道具類を運搬してきました。



いつものところにポリバケツなどセットして、ゴム長を履いて準備完了です。本日は4名全員で1箇所ずつ採取することにしました。まずは松江城側からはじめます。

池の中に入り、ひしゃくで採取した泥は池岸の水抜きざるまで戻って入れた後、小バケツに小分けして運びます。



段差があるこちら側では小バケツをロープで上に引き上げ、大きい40リットルポリバケツに移していきます。



こちら側での採取は40リットルポリバケツ5杯分とれたので、池の反対側に移って残り5杯分採取します。



こちら側は池との高低差が少なく池からすぐにポリバケツに移す方法で実施します。
こちらでも40リットルポリバケツ5杯分採取します。



池の中を歩き、棒を突き刺して泥を攪拌して分解を促進します。いつも通りメタンガスがブクブクでできます。



採取した汚泥のポリタン10個と道具類を軽トラックに載せ、大学村畑（荘成町）まで運搬します。



一輪車（ねこ車）で畑の中に運び、直接畝に投入します。



乾燥するように薄く延ばします。

今後、よく乾燥させてから今年の今までに投入した泥と一緒にボカシを加えて畑の土に鋤きこむ予定です。